

コントローラ不要!DC24V電源だけで動きます!



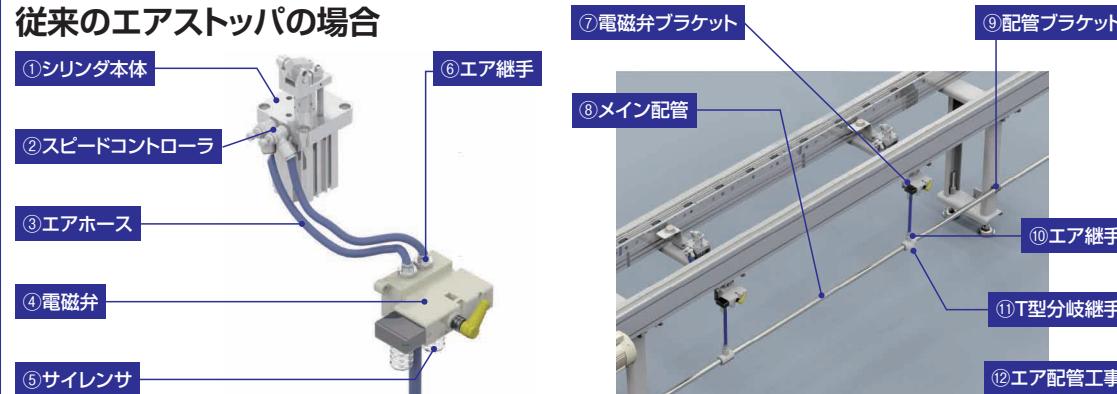
1省エネ
通常待機時は消費電力なし。コンプレッサなどのエア機器一切不要。CO₂排出も低減。

2コントローラレス
DC24V電源だけで駆動。

3互換性
国内大手エア機器メーカー品と同じ規格。取り換え簡単。

4安全
可動範囲が小さく、指の挟みこみがない。

■事例
従来のエアストッパの場合



エコ電動ストッパの場合



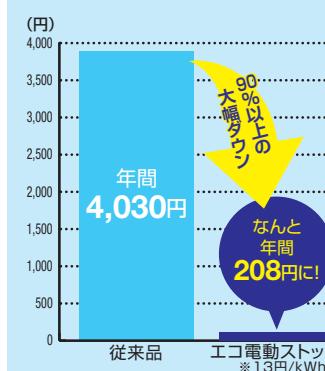
**省配管
低コスト**

DC24V電源だけ!

上記①～⑫すべて不要。
また、それ以外にも組立・
調整の工数など、リードタ
イム短縮にも貢献します。

省エネ

年間の電気代を比較してみると



ストッパをたくさん使うストックラインなどの設備において高い効果が得られます。

90%以上の省エネ!90%以上のCO₂削減!

■海外法規・規格対応

本製品は次の海外法規・規格に対応しています。

| | |
|---------------------------------|-------------------------|
| EC指令 ※1 (CEマーキング) | 機械指令 EMC指令 RoHS指令 |
| UL / CSA Standards ※2 (UL認証) | Recognized E481677 |

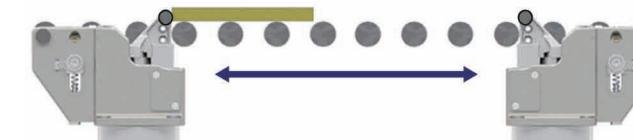
※1. 本製品は単体でEC指令に適合宣言しています。ただし、本適合宣言はお客様の最終製品がEC指令に適合することを保証するものではありません。お客様が本製品を組み込んで完成させた最終製品を欧州域内へ出荷または同域内で使用する場合、必ずお客様自身で最終製品のEC指令への適合を確認してください。

※2. 本製品はClass2電源の仕様を意図した製品としてUL/CSA規格に適合しております。
お客様が本製品を組み込んで完成させた最終製品をUL/CSA規格へ適合させる場合には、Class2電源をご使用ください。

**■耐久性(参考)
高耐久**

メーカー耐久試験において300万回の耐久試験を達成。
(但しショックアブソーバは消耗品であり、寿命目安は約100万回です。)

<試験方法イメージ>



■注意事項

- ①使用範囲内でご使用ください。
使用範囲を超えてご使用されますと、ストッパ破損の原因になります。
- ②レバー直立状態時にはワークを衝突させないでください。
レバー直立時(ショックアブソーバ衝撃吸収後)に次のワークが衝突するとストッパ本体に全エネルギーが課されるため、破損の原因になります。
- ③ワークはストッパのローラ軸に対して平行になるように設置してください。
ローラ軸に対して傾いてワークが当たるとストッパ破損の原因になります。
- ④ストッパ作業中はレバー部分が上下しますので手を挟まれないよう十分にご注意ください。
- ⑤ストッパでワークを停止させた後、ワークを位置決めする際は、「ストッパでワークを停止させる位置」と「ワークを位置決めする位置」に1mm程度の隙間を設けるようにしてください。隙間がないとワークを位置決めする際に横荷重が発生し、ストッパが破損する恐れがあります。
- ⑥水、切削油および塵埃などがかからないようにしてください。
- ⑦周辺温度の変化やショックアブソーバ抗力の経年変化により、搬送物の停止状態が変化することがあります。
停止状態を定期的にご確認いただき、適時ショックアブソーバの抗力を調整してください。
- ⑧ストッパを連続通電にて下降させたままにしますとソレノイドが発熱し、やけどの危険がありますのでご注意ください。
- ⑨本製品はかならずローラ軸が上になるように設置してください。
- ⑩本製品は上限センサはオプションでご用意させていただいておりますが、下限センサの設定はございません。
- ⑪配線には、ミスミ“センサ対応 M12コネクタケーブル”コネクタタイプFSC12を使用可能です。